



令和 4 年 2 月 14 日

大学院生各位 To All Graduate Students

2021 年度 基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture Tokuron 2021

題目：「糖転移酵素の基質認識と触媒反応機構」

Title: 「Substrate recognition and catalytic reaction mechanism of Glycosyltransferases」

講師：長江雅倫先生 大阪大学微生物病研究所

Lecturer: (Masamichi Nagae)

(Research Institute for Microbial Diseases, Osaka Univ.)

日時：令和 4 年 3 月 3 日（木曜日） 16 時～17 時 30 分

Time and Date: From 16:00~17:30, Thursday, Mar. 3, 2022

会場：ZOOM Room: ZOOM

Abstract

糖鎖修飾は最も一般的な翻訳後修飾であり、生物種に固有の修飾様式を持ちます。糖鎖修飾の多様性を決めているのが糖転移酵素であり、ドナー基質である糖ヌクレオチドからアクセプター基質である糖鎖または糖タンパク質へと付加反応を行います。N アセチルグルコサミン (GlcNAc) は生体内に豊富に存在するアミノ糖であり、様々な GlcNAc 転移酵素によって糖鎖から糖タンパク質まで多様なアクセプター基質に対して付加されます。興味深いことに哺乳類の GlcNAc 転移酵素は様々なファミリーがあり、互いに配列相同性が高くありません。このことはそれぞれのファミリーが進化的に独立して糖転移能を獲得したと考えられます。私たちはこれまで X 線結晶構造解析などを用いて複数の GlcNAc 転移酵素の立体構造および基質認識メカニズムを研究してきました。本講義では最近の研究成果を踏まえて哺乳類の GlcNAc 転移酵素の多様性と普遍性を概説できればと考えております。

言語：英語 Language: English

関係講座・部門の連絡担当者：分子細胞化学（生化学第二）岡島徹也 内線 2070

Contact: 2070, Department of Biochemistry II

事前の申込は不要です。 No Registration required.

※Zoom にて開催します。This lecture is held through Zoom. 講義の URL は前週金曜日に学務課よりメールで送信される通知を確認してください。The URL for class will be announced by the e-mail“【med-all】RKR&TPRO Lectures Scheduled Coming Week” sent on Friday of the previous week.

※講義中の録画・録音は禁止します。Recording this lecture is not allowed.

※講義中はカメラをオンにしてください。Please turn on a camera during class time.

※出席確認方法は授業中にお知らせします。Attendance is checked through this lecture.

医学部学務課大学院掛 Student Affairs Division, School of Medicine